

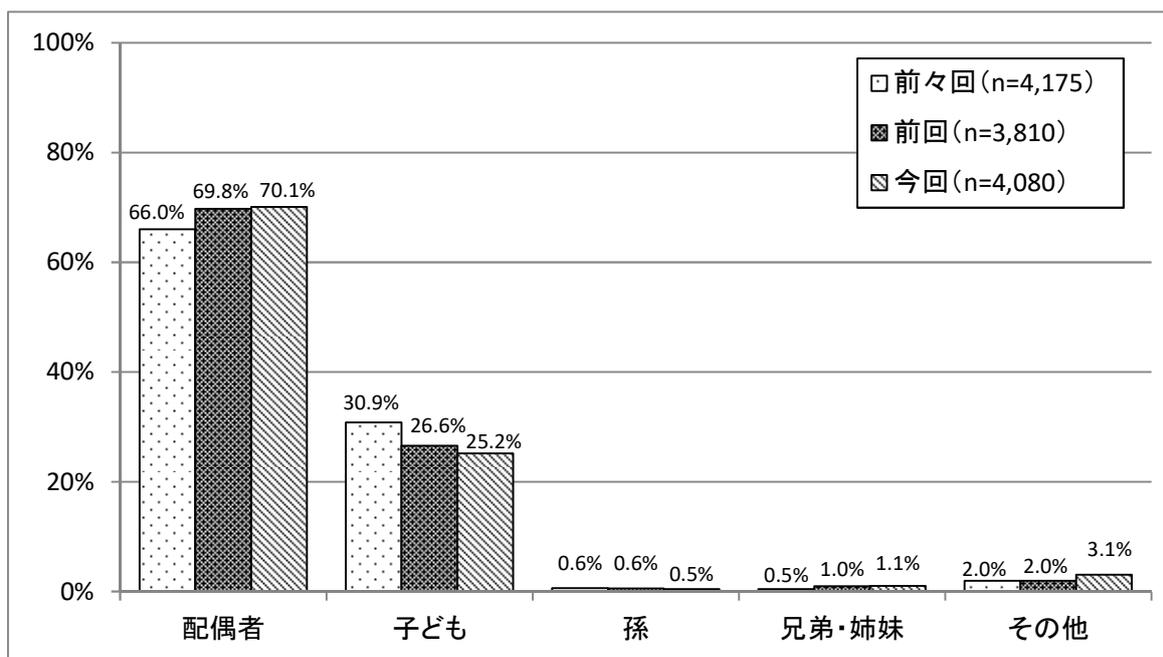
第9節 封筒のあて名の方のご家族の方の回答結果について

問 33 この調査項目にご回答いただいている方は、調査対象者（封筒のあて名の方ご本人）と、どのような関係にある方ですか。〔当てはまるもの 1つに○〕

<表 2-33: 調査対象者との関係>

	人 数	構成比
1 本人の配偶者	2,859	70.1%
2 本人の子ども	1,028	25.2%
3 本人の孫	21	0.5%
4 本人の兄弟・姉妹	45	1.1%
5 その他	127	3.1%
合 計	4,080	100.0%

<図 2-33>



本人とどのような関係かについては「本人の配偶者」が 70.1%と最も高く、次いで「本人の子ども」が 25.2%、「本人の兄弟・姉妹」が 1.1%、「本人の孫」が 0.5%であった。

その他としては、「本人の子どもの配偶者」などの回答がみられた。

前回との比較では、すべての項目で差が5ポイント未満となっており、大きな違いはみられなかった。

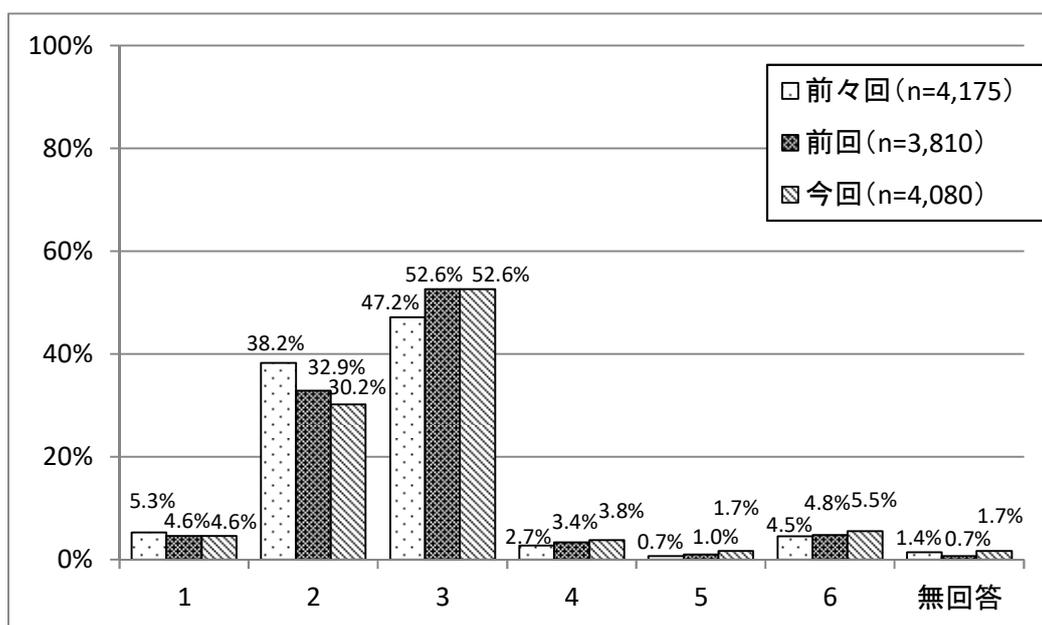
問 34 調査対象者に介護が必要になった時、その方がどこで暮らすことを望みますか。

〔当てはまるもの 1つに○〕

<表 2-34-1:対象者に暮らしてほしい場所>

	人 数	構成比
1 介護サービスを使用せず、家族が介護しながら、ずっと自宅で暮らす	186	4.6%
2 介護サービスを活用しながら、ずっと自宅で暮らす	1,232	30.2%
3 介護の度合いが軽いうちは自宅で暮らし、重くなったら特別養護老人ホームなどに移る	2,147	52.6%
4 介護の度合いが軽いうちから、民間の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などに移る	154	3.8%
5 その他	70	1.7%
6 わからない	223	5.5%
(無回答)	68	1.7%
合 計	4,080	100.0%

<図 2-34-1>



調査対象者に介護が必要になった時、どこで暮らすことを望むかについては「介護の度合いが軽いうちは自宅で暮らし、重くなったら特別養護老人ホームなどに移る」が52.6%と最も高く、次いで「介護サービスを活用しながら、ずっと自宅で暮らす」が30.2%、「わからない」が5.5%であった。

その他としては、「本人の希望通りにする」などの回答がみられた。

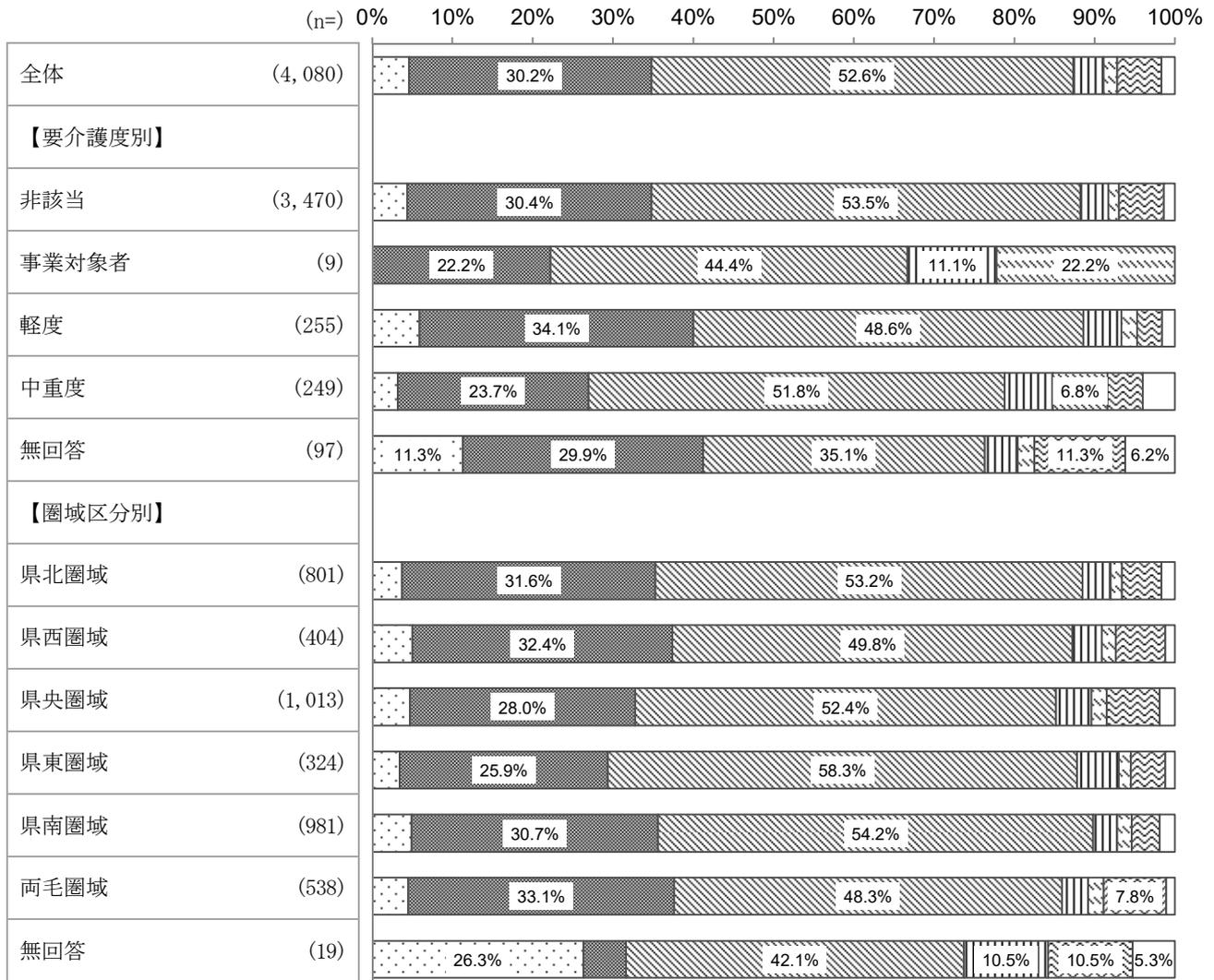
前回との比較では、すべての項目で差が5ポイント未満となっており、大きな違いはみられなかった。

<表 2-34-2 : 要介護度別/圏域区分別>

選択項目		介護サービスを使用せず、 家族が介護しながら、 ずっと自宅で暮らす	介護サービスを活用しながら、 ずっと自宅で暮らす	介護の度合いが軽いうちには 自宅で暮らし、重くなったら 特別養護老人ホームなどに移 る	介護の度合いが軽いうちから、 民間の有料老人ホームや サービス付き高齢者向け住宅 などに移る	その他	わからない	無回答	合計
全体	人数	186	1,232	2,147	154	70	223	68	4,080
	構成比	4.6	30.2	52.6	3.8	1.7	5.5	1.7	100.0
【要介護度別】									
非該当	人数	152	1,055	1,856	122	44	193	48	3,470
	構成比	4.4	30.4	53.5	3.5	1.3	5.6	1.4	100.0
事業対象者	人数	0	2	4	1	2	0	0	9
	構成比	0.0	22.2	44.4	11.1	22.2	0.0	0.0	100.0
軽度	人数	15	87	124	12	5	8	4	255
	構成比	5.9	34.1	48.6	4.7	2.0	3.1	1.6	100.0
中重度	人数	8	59	129	15	17	11	10	249
	構成比	3.2	23.7	51.8	6.0	6.8	4.4	4.0	100.0
無回答	人数	11	29	34	4	2	11	6	97
	構成比	11.3	29.9	35.1	4.1	2.1	11.3	6.2	100.0
【圏域区分別】									
県北圏域	人数	30	253	426	28	11	39	14	801
	構成比	3.7	31.6	53.2	3.5	1.4	4.9	1.7	100.0
県西圏域	人数	20	131	201	15	7	25	5	404
	構成比	5.0	32.4	49.8	3.7	1.7	6.2	1.2	100.0
県央圏域	人数	48	284	531	45	19	67	19	1,013
	構成比	4.7	28.0	52.4	4.4	1.9	6.6	1.9	100.0
県東圏域	人数	11	84	189	17	5	14	4	324
	構成比	3.4	25.9	58.3	5.2	1.5	4.3	1.2	100.0
県南圏域	人数	48	301	532	29	18	34	19	981
	構成比	4.9	30.7	54.2	3.0	1.8	3.5	1.9	100.0
両毛圏域	人数	24	178	260	18	10	42	6	538
	構成比	4.5	33.1	48.3	3.3	1.9	7.8	1.1	100.0
無回答	人数	5	1	8	2	0	2	1	19
	構成比	26.3	5.3	42.1	10.5	0.0	10.5	5.3	100.0

<図 2-34-2 : 要介護度別/圏域区分別>

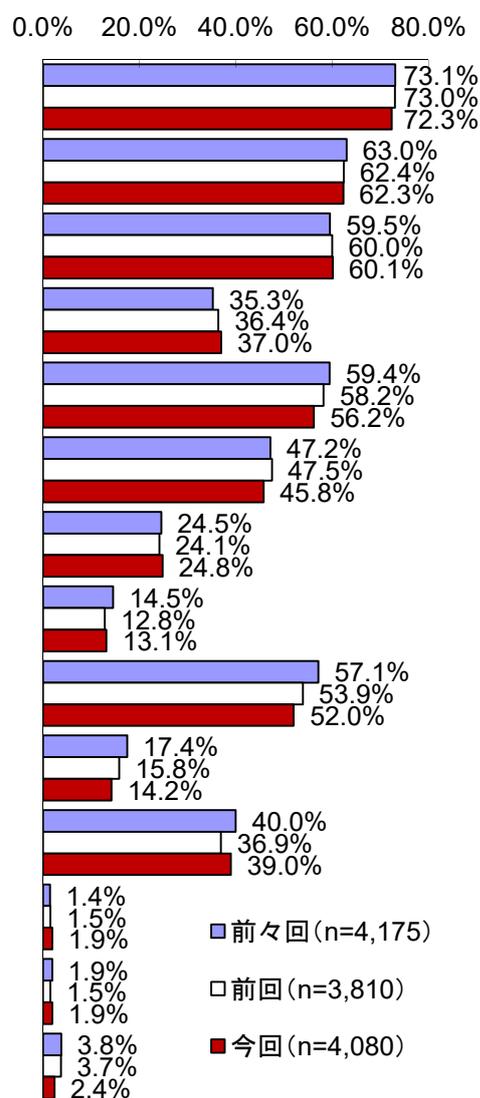
- 介護サービスを使用せず、家族が介護しながら、ずっと自宅で暮らす
- 介護サービスを活用しながら、ずっと自宅で暮らす
- ▨ 介護の度合いが軽いうちは自宅で暮らし、重くなったら特別養護老人ホームなどに移る
- ▩ 介護の度合いが軽いうちから、民間の有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅などに移る
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



問 35 調査対象者に介護が必要になった時、あなたがその方を自宅で介護するために必要だと思うことは何ですか。〔当てはまるもの すべてに○〕

<図表 2-35:在宅介護に必要なこと>

	人 数	選択率
1 身体介護、入浴、リハビリなどの訪問介護サービスの充実	2,951	72.3%
2 医師等による訪問診療、看護師等による訪問看護の充実	2,542	62.3%
3 デイサービスやリハビリなど施設に通って利用するサービスの充実	2,453	60.1%
4 バリアフリー化や福祉用具の整備などの居住環境の確保	1,510	37.0%
5 夜間や緊急時に随時利用できる訪問介護・訪問看護サービスの充実	2,294	56.2%
6 施設に短期間滞在してケアを受けるショートステイの充実	1,867	45.8%
7 配食やゴミ出し、買い物代行などの生活支援サービスの充実	1,010	24.8%
8 高齢者サロンなどの居場所の確保	535	13.1%
9 介護する家族に対する支援の充実	2,123	52.0%
10 地域住民やボランティアなどによる地域の支え合いの充実	581	14.2%
11 介護や医療、福祉に関する総合相談窓口の充実	1,591	39.0%
12 その他	76	1.9%
13 特にない	78	1.9%
(無回答)	96	2.4%
回答者数	4,080	



自宅で介護するために必要と思うことは何かについては、「身体介護、入浴、リハビリなどの訪問介護サービスの充実」が72.3%と最も高く、次いで「医師等による訪問診療、看護師等による訪問看護の充実」が62.3%、「デイサービスやリハビリなど施設に通って利用するサービスの充実」が60.1%、「夜間や緊急時に随時利用できる訪問介護・訪問看護サービスの充実」が56.2%であった。

その他としては、「お金がないため考えられない」、「自分の体力がもつか心配」といった回答がみられた。

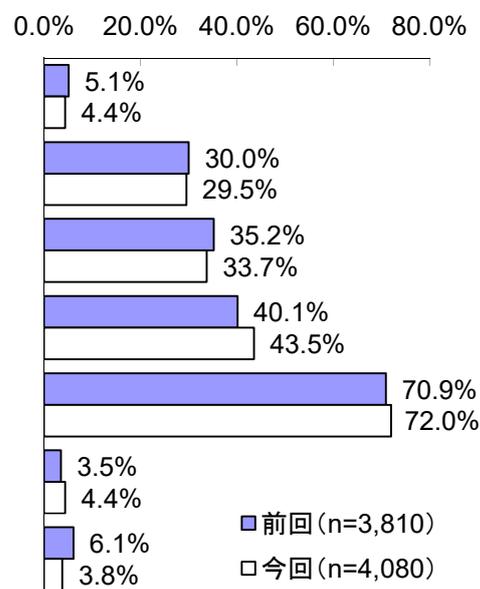
前回との比較では、すべての項目で差が5ポイント未満となっており、大きな違いはみられなかった。

問 36 調査対象者に介護が必要になった時、不安に思うのはどのようなことですか。

【当てはまるもの すべてに○】

<図表 2-36:介護が必要になった時、不安に思うこと>

	人 数	選択率
1 子育てと介護を両立できるか	178	4.4%
2 仕事と介護を両立できるか	1,203	29.5%
3 家族や親族等の協力が得られるか	1,374	33.7%
4 介護保険制度や介護保険サービスの利用方法等がわからない	1,773	43.5%
5 介護保険サービスを利用した場合の費用負担	2,939	72.0%
6 その他	180	4.4%
(無回答)	156	3.8%
回答者数	4,080	



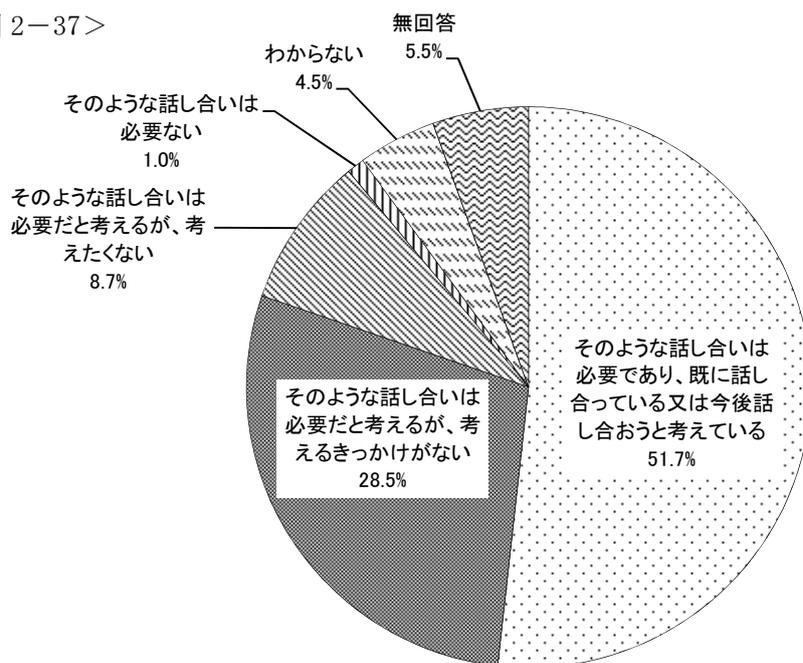
介護が必要になった時、不安に思うことについては、「介護保険サービスを利用した場合の費用負担」が72.0%と最も高く、次いで「介護保険制度や介護保険サービスの利用方法がわからない」が43.5%、「家族や親族等の協力が得られるか」が33.7%、「仕事と介護を両立できるか」が29.5%であった。その他としては、費用面について不安視する回答が多かった。前回との比較では、すべての項目で差が5ポイント未満となっており、大きな違いはみられなかった。

問 37 あなたが、人生の最期にどんな医療やケアを望むのかを家族など信頼できる人と繰り返し話し合うことについて、どのようにお考えですか。〔当てはまるもの 1つに○〕

<表 2-37:最期に関する話し合いについての考え>

	人 数	構成比
1 そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている	2,110	51.7%
2 そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない	1,164	28.5%
3 そのような話し合いは必要だと考えるが、考えたくない	355	8.7%
4 そのような話し合いは必要ない	41	1.0%
5 わからない	185	4.5%
(無回答)	225	5.5%
合 計	4,080	100.0%

<図 2-37>



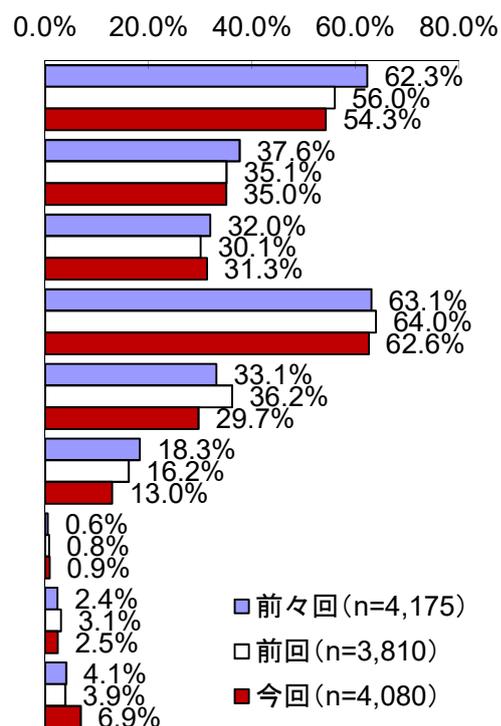
(n=4,080)

最期に関する話し合いについての考えについては、「そのような話し合いは必要であり、既に話し合っている又は今後話し合おうと考えている」が51.7%と最も高く、次いで「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えるきっかけがない」が28.5%、「そのような話し合いは必要だと考えるが、考えたくない」が8.7%、「わからない」が4.5%であった。

問 38 もし、家族が認知症になった時に知りたいことは何ですか。〔当てはまるものに ○（3つまで）〕

<図表 2-38: 家族が認知症になった時に知りたいこと>

	人 数	選択率
1 認知症に関する知識や治療の方法	2,216	54.3%
2 介護に関する知識や方法	1,427	35.0%
3 介護サービスの相談窓口	1,278	31.3%
4 認知症に対応できる介護サービス	2,555	62.6%
5 認知症の診断ができる医療機関	1,211	29.7%
6 介護している家族が悩みなどを話し合える集まり（介護者家族の会）	531	13.0%
7 その他	36	0.9%
8 わからない	102	2.5%
（無回答）	282	6.9%
回答者数	4,080	



家族が認知症になった時に知りたいことは何かについては、「認知症に対応できる介護サービス」が62.6%と最も高く、次いで「認知症に関する知識や治療の方法」が54.3%、「介護に関する知識や方法」が35.0%、「介護サービスの相談窓口」が31.3%であった。

その他としては、「認知症の母をみたのである程度はわかっている」「知っているので特にない」といった回答がみられた。

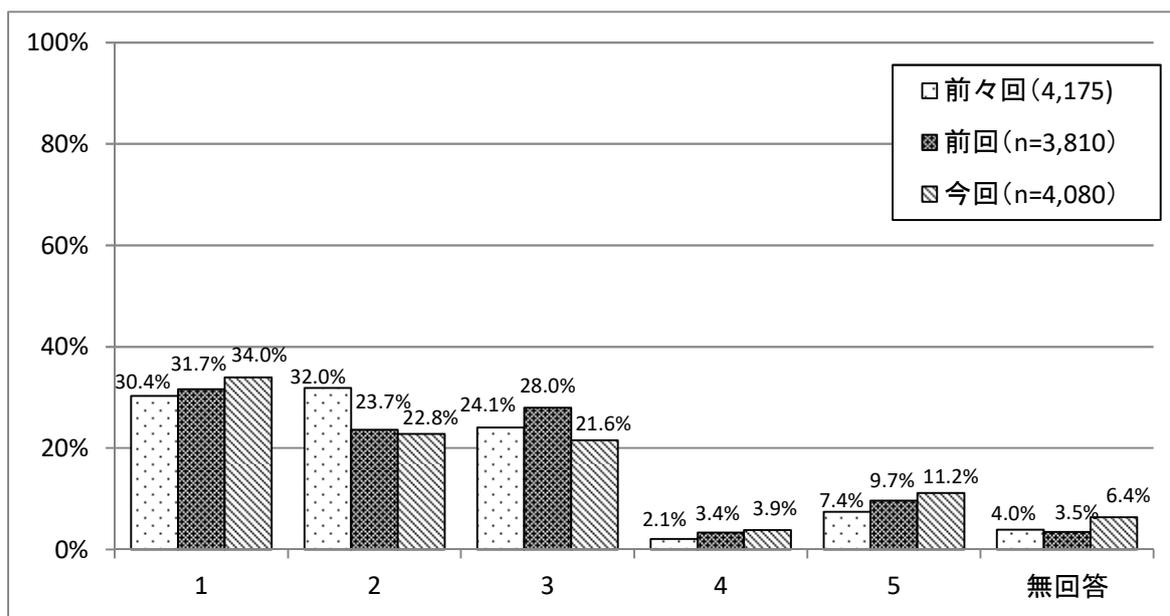
前回との比較では、「認知症の診断ができる医療機関」が6.5ポイント低くなっていた。

問 39 調査対象者が特別養護老人ホームに入所する場合、あなた自身は、その方が個室に入所することを希望しますか、相部屋に入所することを希望しますか。〔当てはまるもの 1つに○〕

＜表 2-39-1: 特別養護老人ホーム入所時に希望する部屋のタイプ (家族) ＞

	人 数	構成比
1 多少利用料金が高くてもプライバシーが保てる個室がいい	1,389	34.0%
2 利用料金が安いので相部屋がいい	929	22.8%
3 他の人がいた方が良いため、相部屋がいい	882	21.6%
4 その他	160	3.9%
5 わからない	457	11.2%
(無回答)	263	6.4%
合 計	4,080	100.0%

＜図 2-39-1＞



調査対象者が特別養護老人ホームに入所する場合、個室か相部屋のどちらを希望するかについては、「多少利用料金が高くてもプライバシーが保てる個室がいい」が34.0%と最も高く、次いで「利用料金が安いので相部屋がいい」が22.8%、「他の人がいた方が良いため、相部屋がいい」が21.6%であった。

その他としては、「個室がいいが料金が気になる」、「安いのなら個室が良い」などの回答がみられた。

前回との比較では、「他の人がいた方が良いため、相部屋がいい」が6.4ポイント低くなっていた。

<表 2-39-2 : 要介護度別/圏域区分別>

選択項目		多少利用料金が 高くても プライバシーが 保てる個室がいい	利用料金が安いので 相部屋がいい	他の人がいた方が 良いので 相部屋がいい	その他	わからない	無回答	合計
		全体	人数	1,389	929	882	160	457
	構成比	34.0	22.8	21.6	3.9	11.2	6.4	100.0
【要介護度別】								
非該当	人数	1,208	781	755	135	384	207	3,470
	構成比	34.8	22.5	21.8	3.9	11.1	6.0	100.0
事業対象者	人数	4	1	1	1	1	1	9
	構成比	44.4	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	100.0
軽度	人数	81	55	56	12	25	26	255
	構成比	31.8	21.6	22.0	4.7	9.8	10.2	100.0
中重度	人数	80	63	48	10	34	14	249
	構成比	32.1	25.3	19.3	4.0	13.7	5.6	100.0
無回答	人数	16	29	22	2	13	15	97
	構成比	16.5	29.9	22.7	2.1	13.4	15.5	100.0
【圏域区分別】								
県北圏域	人数	230	213	201	29	74	54	801
	構成比	28.7	26.6	25.1	3.6	9.2	6.7	100.0
県西圏域	人数	144	77	86	14	51	32	404
	構成比	35.6	19.1	21.3	3.5	12.6	7.9	100.0
県央圏域	人数	376	218	183	45	126	65	1,013
	構成比	37.1	21.5	18.1	4.4	12.4	6.4	100.0
県東圏域	人数	95	88	83	11	22	25	324
	構成比	29.3	27.2	25.6	3.4	6.8	7.7	100.0
県南圏域	人数	335	222	221	46	101	56	981
	構成比	34.1	22.6	22.5	4.7	10.3	5.7	100.0
両毛圏域	人数	201	109	106	15	79	28	538
	構成比	37.4	20.3	19.7	2.8	14.7	5.2	100.0
無回答	人数	8	2	2	0	4	3	19
	構成比	42.1	10.5	10.5	0.0	21.1	15.8	100.0

<図 2-39-2 : 要介護度別/圏域区分別>

